



滋賀県立大学 2024年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係ですべての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、本学の学習管理システムUSPo(<https://www.usp.ac.jp/gakubu/edu/syllabus/>)で、ご確認ください。

科目授業名	授業代表教員氏名	ページ数
アジア・フィールド実習Ⅰ	丸尾 雅啓	1
アジア・フィールド実習Ⅱ	丸尾 雅啓	4
生活と健康	牧野 耕次	7
生命・人間・倫理	糸島 陽子	11
人間と病気	坪井 宏仁	14
農業と環境A	須戸 幹	17
比較住居論	藤木 庸介	20
憲法	橋本 豪志※	23
異文化理解A	真島 アマンダ	26

講義コード	1150116	ナンバリング番号	
講義名	アジア・フィールド実習Ⅰ		
講義名(英文)	Field Study in Asia Ⅰ		
副題	アジアのSDGsⅠ	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期、2024年度後期
授業形態	実習	アクティブラーニング	有
プレゼンテーション	パワーポイント/ハンドアウト配付/視聴覚メディア等の利用/その他		
担当教員	丸尾 雅啓、高橋 卓也、松田 壮顕		
実務経験/実践教育	アジア地域の大学と連携し、環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行う。使用言語は英語とする。10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。		

シラバス

授業概要	アジアの環境問題および持続可能な発展への課題(以下、環境問題等)をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外(アジア地域)の大学と連携し、アジア地域の環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中または後期定期試験終了後に10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。プログラム参加者が確定した後、担当教員がまとめて履修登録を行う。
到達目標	(1) アジアの環境問題等を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。 (2) アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる。 (3) 本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題等の解決策を提案することができる。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
人間の心身および人間と自然や社会とのかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	○
市民としての責任感と倫理観を身につける。	態度・倫理	○
人間や社会を深く見詰め、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける	思考・判断	◎
国際的に活躍する世界市民に必要な外国語によるコミュニケーション能力を身につける。	技能・技術	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

第1回授業内容	第1日目 問題理解(オリエンテーション、講義)	現地の環境問題を理解する。本学における事前学習会(3回)として実施する。	目安時間	6
・・・予習内容			目安時間	6
・・・復習内容			目安時間	6
第2回授業内容	第2日目 問題再整理(講義、フィールドワーク、ワークショップ)	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第3回授業内容	第3日目 問題再整理(講義、フィールドワーク、ワークショップ)	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第4回授業内容	第4日目 問題再整理(講義、フィールドワーク、ワークショップ)	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2

第5回授業内容	第5日目 問題再整理（講義、フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第6回授業内容	第6日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第7回授業内容	第7日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第8回授業内容	第8日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第9回授業内容	第9日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第10回授業内容	第10日目 学習成果のプレゼンテーション	学習成果を発表する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	3
・・・復習内容			目安時間	1
第11回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第12回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第13回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第14回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第15回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
			学修時間合計・・・	90

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		

レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)、(2)、(3)については、ワークショップ・最終プレゼンテーション(50%:(1)20%,(2)20%,(3)10%)、ならびに事前学習参加状況・最終レポート(50%:(1)20%,(2)20%,(3)10%)により評価する。
ルーブリック添付ファイル	無	
成績評価備考		
その他授業外学習		事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言(授業評価アンケート結果をふまえたコメント等)	アジアフィールド実習ⅠⅡ(国際環境マネジメントⅠ、Ⅱ、国際環境マネジメントを含む)とあわせて履修定員は約15名とする。履修希望者が約15名を越えるときはTOEICスコア上位者を優先する。 夏季休暇中、あるいは後定期試験終了後に実施する10日間程度の集中科目である。ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン等アジア諸国の大学と提携し相手国の学生も参加する共通のプログラムで実施する。なお、実習実費の一部、渡航費と滞在費は参加学生の負担になる。概ね10万円から10数万円の費用がかかる見込み。
関連する画像・文章・動画URL	

講義コード	1150117	ナンバリング番号	
講義名	アジア・フィールド実習 II		
講義名 (英文)	Field Study in Asia II		
副題	アジアのSDG s II	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期、2024年度後期
授業形態	実習	アクティブラーニング	有
プレゼンテーション	パワーポイント/ハンドアウト配付/視聴覚メディア等の利用/その他		
担当教員	丸尾 雅啓、高橋 卓也、松田 壮顕		
実務経験/実践教育	アジア地域の大学と連携し、環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行う。使用言語は英語とする。10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。		

シラバス

授業概要	アジアの環境問題および持続可能な発展への課題（以下、環境問題等）をそれが生起している場の自然条件および社会条件と合わせて理解し、その解決策を検討する能力を海外現地教員による講義、事例調査とワークショップを通じて養うことを目標とする。そのために、問題を俯瞰的にとらえる能力、異なる社会的・文化的背景を有する人々とのコミュニケーション能力、専門的知識を問題解決に応用する能力を養う。授業の形態は、海外（アジア地域）の大学と連携し、アジア地域の環境問題等の現場を対象とした講義、フィールドワーク、ワークショップ形式で行うこととする。使用言語は英語とする。夏季休暇中または後期定期試験終了後に10日間程度の海外集中プログラムとして実施する。プログラム参加者が確定した後、担当教員がまとめて履修登録を行う。
到達目標	(1) アジアの環境問題等を自然条件、社会条件を踏まえ俯瞰的にとらえることができる。 (2) アジアの学生と具体的な問題を通じてコミュニケーションできる。 (3) 本コースで学んだ知識に基づき、具体的な環境問題等の解決策を提案することができる。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
人間の心身および人間と自然や社会とのかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	○
市民としての責任感と倫理観を身につける。	態度・倫理	○
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける	思考・判断	◎
国際的に活躍する世界市民に必要な外国語によるコミュニケーション能力を身につける。	技能・技術	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

第1回授業内容	第1日目 問題理解（オリエンテーション、講義）	現地の環境問題を理解する。本学における事前学習会（3回）として実施する。	目安時間	6
・・・予習内容			目安時間	6
・・・復習内容			目安時間	6
第2回授業内容	第2日目 問題再整理（講義、フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第3回授業内容	第3日目 問題再整理（講義、フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第4回授業内容	第4日目 問題再整理（講義、フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2

第5回授業内容	第5日目 問題再整理（講義、フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題について再整理する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第6回授業内容	第6日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第7回授業内容	第7日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第8回授業内容	第8日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第9回授業内容	第9日目 問題解決追求（フィールドワーク、ワークショップ）	現地の環境問題の解決策を検討する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	2
・・・復習内容			目安時間	2
第10回授業内容	第10日目 学習成果のプレゼンテーション	学習成果を発表する。	目安時間	4
・・・予習内容			目安時間	3
・・・復習内容			目安時間	1
第11回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第12回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第13回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第14回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第15回授業内容	学習成果に関するレポートの作成	学習成果に関するレポートを作成する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
			学修時間合計・・・	90

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		

レポート課題		
上記以外	100	到達目標で示す(1)、(2)、(3)については、ワークショップ・最終プレゼンテーション(50%:(1)20%,(2)20%,(3)10%)、ならびに事前学習参加状況・最終レポート(50%:(1)20%,(2)20%,(3)10%)により評価する。
ルーブリック添付ファイル	無	
成績評価備考		
その他授業外学習		事前学習と帰国後のレポート作成・提出を課す。また、海外での集中講義期間中に、ワークショップの準備のための課題を適宜課す。

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	英語でのコミュニケーションがある程度できる学力を有していること。概ねTOEICスコア550点以上の学力を基準とする。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言(授業評価アンケート結果をふまえたコメント等)	アジアフィールド実習ⅠⅡ(国際環境マネジメントⅠ、Ⅱ、国際環境マネジメントを含む)とあわせて履修定員は約15名とする。履修希望者が約15名を越えるときはTOEICスコア上位者を優先する。 夏季休暇中、あるいは後定期試験終了後に実施する10日間程度の集中科目である。ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン等アジア諸国の大学と提携し相手国の学生も参加する共通のプログラムで実施する。なお、実習実費の一部、渡航費と滞在費は参加学生の負担になる。概ね10万円から10数万円の費用がかかる見込み。
関連する画像・文章・動画URL	

講義コード	1150225	ナンバリング番号	101HUM178
講義名	生活と健康		
講義名(英文)	Life and Health		
副題	健全な日常生活を生きる	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態	講義	アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント/ハンドアウト配付/視聴覚メディア等の利用		
担当教員	渡邊 友美子、千田 美紀子、岡崎 瑞生、中川 美和、川端 智子、馬場 文、小野 あゆみ、生田 宴里、玉川 あゆみ、下通 友美、松井 宏樹、松原 千晴		
実務経験/実践教育	看護師としての勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人間の健康について多角的に捉え、発達過程や様々な生活環境と健康との関連性を振り返り、自らの生活をより健康的に整えられるための工夫を検討する。 人間看護学部教員によるオムニバス形式の授業で、各回異なるテーマで講義を行う。		
到達目標	(1) 生活習慣と健康との関連性を理解する (2) 自らの生活習慣を健康の視点から振り返り、問題点を検討することができる (3) 健康的な生活に向けて、行動変容をおこなうことができる		
学位授与方針との対応			
	概要	能力	比重
	人間の心身および人間と自然や社会とのかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	◎
	人間や社会を深く見詰め、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。	思考・判断	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

第1回授業内容	授業ガイダンス / WHOの健康・飲酒：大学生と飲酒	WHOの健康の定義について学ぶ。また、大学生の飲酒行動を取り巻く環境やその影響について理解し、適切な飲酒行動について考えを深める。(担当：生田宴里)	目安時間	2
・・・予習内容	「健康」とはどのような状態ことか、自身の考えをまとめておく。 また、大学生の飲酒にともなうリスクや適切な飲酒行動について調べ、考える。		目安時間	2時間
・・・復習内容	授業や資料の内容を振り返り、レポート課題に取り組む。(Formsで提出)		目安時間	2時間
第2回授業内容	プレコンセプションケア①：性の健康について考える～妊孕制性と性感染症～	将来の自分とパートナーのために、性感染症に関する知識を深め、性感染症の予防行動をとることができるようにする。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2
・・・予習内容	インターネット・書籍等で性感染症について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の性感染症に対する考えについてレポートする (FORMS)。		目安時間	2
第3回授業内容	プレコンセプションケア②：性の健康について考える～予期せぬ妊娠とDV～	パートナーとの良好な関係性についての理解を深め、自身の心と体を守るための方法について学びを深める。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2
・・・予習内容	インターネット・書籍等でDVについて調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の予期せぬ妊娠とDVに対する考えについてレポートする (FORMS)。		目安時間	2
第4回授業内容	プレコンセプションケア③：性の健康について考える～女性ホルモンと女性の健康課題～	女性は、女性ホルモンに左右されながら生活を送ることを理解し、男女ともに女性性の特徴を知り、女性の健康課題について学びを深める。(担当：渡邊友美子)	目安時間	2

・・・予習内容	インターネット・書籍等で女性ホルモンについて調べる。	目安時間	2
・・・復習内容	講義受講後の女性の健康に関する考えについてレポートする (FORMS)。	目安時間	2
第5回授業内容	リラクゼーション：健康なところとからだをつくるためのリラクゼーション 人はリラクゼーション法を行うことにより、体の自然なリラクゼーション反応を意識的に引き起こす。そのリラクゼーション反応が健康にどのように影響するのかを理解する。(担当：千田美紀子)	目安時間	2
・・・予習内容	ストレスやリラクゼーションに関連する書籍を読んだり、インターネットで検索したりすることで、リラクゼーションの実際に触れておく。	目安時間	2
・・・復習内容	授業時に提示したリラクゼーション法のうち、一つを選び実践をし、Formsにて実践報告を行う。	目安時間	2
第6回授業内容	超高齢社会にむけた社会を作る①：高齢者の理解と接し方 加齢に伴う身体・心理・社会的変化を理解し、高齢者との接し方について考える。(担当：松井宏樹)	目安時間	2
・・・予習内容	「老」という言葉に対するイメージや「老」という言葉が用いられる熟語等について考え、調べておく。	目安時間	2時間
・・・復習内容	授業や配布資料の内容をふまえて、レポートに取り組む。	目安時間	2時間
第7回授業内容	超高齢社会にむけた社会を作る② 高齢者が参画可能な社会の構築を目指したまちづくりについて考える。(担当：岡崎瑞生)	目安時間	2
・・・予習内容	高齢者の社会参画(参加)について、書籍等で調べておく。	目安時間	2時間
・・・復習内容	授業内容を踏まえて、高齢者が参画可能な社会の構築を目指したまちづくりについて考察し、記述する。(Formsで提出)	目安時間	2時間
第8回授業内容	依存症：依存症(アディクション)について知る まず、依存症にはどのようなものがあるのか理解する。次に、依存症の対策にどのようなものがあるのかについても考える。(担当：下通友美)	目安時間	2
・・・予習内容	新聞やニュース等から依存症に関連する記事や話題をひとつ読んでおく。	目安時間	2
・・・復習内容	講義を聞いて自らが興味をもった依存症について調べ、依存症の当事者の体験を調べて感想をレポートで提出する。(Formsで提出)	目安時間	2
第9回授業内容	喫煙：ニコチンに依存しない体をつくる 喫煙および受動喫煙による身体への影響を理解する。喫煙に対する日本の政策および世界の政策から日本での喫煙対策について考える。(担当：川端智子)	目安時間	2
・・・予習内容	生活の中で身近にあるタバコについての情報を注意深く観察する。喫煙に関する自分の意見をまとめておく。	目安時間	2
・・・復習内容	授業内容をふまえて喫煙および受動喫煙から自分で身を守る方法について具体的に考え、述べる。(Formsで提出)	目安時間	2
第10回授業内容	運動：健康なところとからだをつくるための運動 運動がこころとからだに与える影響について理解する。健康なところとからだをつくるための自身の運動について考える。(担当：小野あゆみ)	目安時間	2
・・・予習内容	自身が日常生活で行っている運動について、頻度や運動時間を振り返っておく。運動がこころとからだにどのように影響するのか、インターネットや書籍で調べる。	目安時間	2
・・・復習内容	授業内容や資料を振り返り、自身の今後の運動についての考えを記述する。(Formsで提出)	目安時間	2
第11回授業内容	食生活：健康なところとからだをつくるための食生活 健康に必要な食生活、特に食事やサプリメントなどが食生活にどのような影響を与えるか理解する。(担当：中川美和)	目安時間	2
・・・予習内容	自身のこれまでの食生活を振り返り、健康と食生活の関連を考える。	目安時間	2
・・・復習内容	授業内容や資料を振り返り、レポート課題に取り組む。(Formsで提出)	目安時間	2
第12回授業内容	感染症・予防接種：免疫のある体をつくる 感染と感染症の違いを理解し、感染症の現状について学ぶ。感染症が生じるメカニズムや感染症の種類、感染症に対する予防法について理解し、免疫のある体の作り方について学びを深める。(担当：玉川あゆみ)	目安時間	2
・・・予習内容	感染症に対するこれまでの自分自身の考えと行動について意見をまとめておく。	目安時間	1
・・・復習内容	自分自身のワクチンに対する考えについて述べる。(Formsで提出)	目安時間	3
第13回授業内容	ストレス：ストレスにどう対応すれば良いのか ストレスにどのように対応すれば良いのか、ストレス関連概念やマネジメント技法について考える。(担	目安時間	2

当：下通友美)

・・・予習内容	これまでの人生史のなかのストレス体験とその対処について振り返りしておく。	目安時間	1
・・・復習内容	紹介した技法を実践し報告する (Formsで提出)	目安時間	3
第14回授業内容	地域でつくる健康①：ヘルスプロモーションと健康	ヘルスプロモーションとは何か、身近な地域で展開されているヘルスプロモーションの実際について具体例を用いて示す。そして、ヘルスプロモーションと人々の日常生活や健康づくりとの関連について理解を深める。(担当：馬場文)	目安時間 2
・・・予習内容	「健康日本21計画」、WHOオタワ憲章などについて予習し、ヘルスプロモーションの考え方について触れておく。	目安時間	2時間
・・・復習内容	自分の身近なところで展開されているヘルスプロモーションの取り組みについて調べたことを記述する。(Formsで提出)	目安時間	2時間
第15回授業内容	地域でつくる健康②：ヘルスリテラシーの向上	ヘルスリテラシーとは何か、そしてそれを向上させるためにどのような方策があるか、について理解を深める。さらに各自のヘルスリテラシーの向上に役立てることを目指す。(担当：馬場文)	目安時間 2
・・・予習内容	ヘルスリテラシーについて、第14回授業で紹介するインターネットサイトや図書を用いて触れておく。	目安時間	2時間
・・・復習内容	ヘルスリテラシーの向上をめざして、自分自身でどのようなことができるか、考え記述する。(Formsで提出)	目安時間	2時間
学修時間合計・・・			90

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	78	レポートを課す授業は13回。どの回でレポートを課すかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、レポート課題による評価割合は、6%×13回=78%となる。
上記以外	22	小テストを行う授業は2回。どの回で小テストを行うかについては、初回の授業ガイダンスで示す。1回の評価割合を6%とし、小テストによる評価割合は、6%×2回=12%となる。 また、全講義に出席し、出席 (レスポンス) カードを全ての講義終了時に提出した場合は、10%分加点する。
ルーブリック添付ファイル	無	
成績評価備考		3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。 毎授業で小テストまたはレポートを課し、評価を行う。 この小テストやレポートにはFormsを用い、スマートフォンやパソコンでの提出・回答を求める。 Formsのアクセス先URLは、各回授業ごとに各教員から提示またはUSPoで配信する予定である。
その他授業外学習		配布資料を復習して、自分自身の健康管理や日常生活に役立てていくことを期待しています。

教科書

書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	毎回の授業で資料配布する (紙および電子)			

前提学力等	特になし
履修資格	
授業の参考となるサイト	適宜授業で紹介する

担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	若い皆さんであるからこそ、自身の「健康」について真剣に考えていただきたいと、思っております。（担当教員一同）
関連する画像・文章・動画 URL	

講義コード	1150230	ナンバリング番号	101HUM154
講義名	生命・人間・倫理		
講義名（英文）	Life, Human being and Ethics		
副題	人間の尊厳と権利	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度後期
授業形態	講義	アクティブラーニング	有
プレゼンテーション	板書／パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用		
担当教員	糸島 陽子、本田 可奈子		
実務経験/実践教育	看護師としての勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人間の生命の尊厳と権利の尊重についての基本的な考え方、倫理原則、倫理理論を学ぶ。また、現代の生命倫理・医療倫理に関する具体的な問題や課題に視点を当て、看護の立場から適切な判断や解決の方略を考える。		
到達目標	(1) 現代社会における倫理的課題とその解決方略について説明することができる。 (2) 人に対する深い洞察力を持ち、人の尊厳と権利を擁護について説明することができる。		
学位授与方針との対応			
	概要	能力	比重
	主体的に取り組む姿勢と、他者に共感・協調する態度を兼ね備え、人間の尊厳と権利を擁護する基本的な倫理観を備えている。	態度・倫理	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画				
第1回授業内容	現代社会と倫理	生命倫理・医療倫理の歴史的背景を紹介し、現代社会における倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から現代社会における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討論をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第2回授業内容	倫理原則・倫理綱領	倫理原則を紹介し、生命の尊厳と権利の尊重について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から倫理原則について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第3回授業内容	生殖補助医療と倫理	生殖技術の歴史と背景を紹介し、生殖補助技術をめぐる倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から生殖補助医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第4回授業内容	新生児・小児医療と倫理	新生児・小児医療の倫理的課題、インフォームドアセントを紹介し、子どもの最善の利益について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から新生児・小児医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第5回授業内容	障がい児・者と倫理	看護における障がいの捉え方について紹介し、障がい児・者の権利について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から障がい児・者における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2

第6回授業内容	臓器移植と倫理	脳死・死の定義、臓器移植の現状を紹介し、移植医療をめぐる倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から臓器移植における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第7回授業内容	終末期医療と倫理	安楽死、尊厳死の定義や現状を紹介し、終末期医療をめぐる倫理的課題について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から終末期医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	2
第8回授業内容	DVD視聴	DVDを視聴して倫理的課題を考える。	目安時間	2
・・・予習内容	第1回～第7回の講義に関する倫理的課題について整理する。		目安時間	2
・・・復習内容	課題レポートを作成する。		目安時間	2
第9回授業内容	高齢者医療と倫理	高齢者医療における倫理的課題を紹介し、高齢者の尊厳と権利の尊重について考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献から高齢者医療における倫理的課題について調べる。		目安時間	1
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の要点をまとめる。		目安時間	3
第10回授業内容	もしバナゲーム	もしバナゲームをとおして自己のアドバンス・ケア・プランニングについて考える。	目安時間	2
・・・予習内容	教科書や文献からアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の現状について調べる。		目安時間	2
・・・復習内容	講義や討議をとおして、本時の学びと自己のACPについてまとめる。		目安時間	2
第11回授業内容	看護倫理	看護専門職における倫理綱領の必要性を踏まえ、「看護職の倫理綱領」について理解する。	目安時間	2
・・・予習内容	第1回から第10回までの授業をふりかっける。		目安時間	2
・・・復習内容	本時の学びをもとに自分の考えを整理する。		目安時間	2
第12回授業内容	事例検討の方法	倫理分析の手法について学ぶ	目安時間	2
・・・予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第13回授業内容	事例検討①	事例をもとに倫理的判断を考察する。	目安時間	2
・・・予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第14回授業内容	事例検討②	事例をもとに倫理的判断を考察する。	目安時間	2
・・・予習内容	事例のテーマを事前に伝えるため、それに関連する基礎知識について読み込んでくる。		目安時間	2
・・・復習内容	本日の学びをもとにテーマに関連する自分の考えを整理する。		目安時間	2
第15回授業内容	事例検討③ まとめ	4つの事例を通して看護実践における倫理的視点を整理し、倫理的行動に対する自己の課題を考察する。	目安時間	2
・・・予習内容	第11回から第14回の授業を振り返り、疑問となった事象についてまとめてくる。		目安時間	2
・・・復習内容	全15回の授業を振り返り、生命倫理について考察を深め、自己の学習課題を整理する。		目安時間	2
学修時間合計・・・				90

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		・11回～15回：看護倫理（倫理分析を行う）30%
レポート課題		・1回～10回：70%（ミニ討議とコメントシート：40%・課題レポート：30%）
上記以外		
ルーブリック添付ファイル	無	

成績評価備考	毎回ミニ討議を行うため、遅刻・欠席は評価の対象とします。
その他授業外学習	講義に関する項目については、事前に教科書を読み参加してください。

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
テキストブック生命倫理	霜田求	法律文化社	9784589038951	
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	講義中に紹介します。 看護職の倫理綱領（2021） https://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/rinri/code_of_ethics.pdf			

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	
関連する画像・文章・動画 URL	

講義コード	1150430	ナンバリング番号	101HUM180
講義名	人間と病気		
講義名(英文)	Human and Disease		
副題	人類と病気との出会いと戦いの歴史	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態	講義	アクティブラーニング	
プレゼンテーション			
担当教員	坪井 宏仁		
実務経験/実践教育	医師としての勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	<p>人類の歴史は病気との闘いの歴史でもある。人類はその時代時代で、生命を脅かす病気に出会い、その病を克服するために悪戦苦闘を続けてきた。その結果、多くの病気が「死に至る病」から、「克服できる病」あるいは「ともに歩む病」へと変わりつつある。しかし、その一方で新興感染症のように以前は全く知られていなかった新しい疾患が出現したり、すでに克服したかのように思われていた感染症が再び流行したりするようになり、大きな医学的課題となっている。また、寿命の延長に伴って、がんや認知症の罹患率が上昇するとともに、各種生活習慣病が解決すべき課題として注目を集めるようになっていく。</p> <p>本講義では、胃・心臓の病気、生活習慣病、感染症、がん、神経難病を中心に重要な疾患を取り上げ、人類がどのように病気と出会い、その原因を究明し、克服してきたか、病気の歴史を振り返りながら病気がおこるしくみを解説する。ここでは、最新の医学についても触れ、未来の医学を展望する。また、慢性疾患および生活習慣病予防・抗加齢医学に有益と思われる伝統医学または代替医療についても触れる。</p>
到達目標	<p>(1) 胃腸、心臓、免疫、神経のおおよそのしくみが理解できる (2) がん、感染症、生活習慣病、神経難病など、主要な病気の発生機序が理解できる (3) 病気研究の歴史をとおして、科学的思考の過程が理解できる (4) 主要な病気の現在の状況と今後の展望が理解できる (5) エビデンスに基づいた思考ができる</p>

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
人間の心身および人間と自然や社会とのかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	理解60%
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。	思考・判断	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

回	授業内容	目安時間	比重
第1回	胃の病気 胃粘膜をめぐる攻防(ピロリ菌の発見と胃潰瘍・胃がん)	2時間	
・・・	予習内容 教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	2時間	
・・・	復習内容 講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	2時間	
第2回	肝臓の病気 肝臓の機能と病気、肝炎ウイルスの発見、肝硬変と肝細胞がん	2時間	
・・・	予習内容 教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	2時間	
・・・	復習内容 講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	2時間	
第3回	糖尿病 文明がもたらした病(インスリンの発見と糖尿病、今後の展望)	2時間	
・・・	予習内容 教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	2時間	
・・・	復習内容 講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	2時間	
第4回	心臓の話 無謀な挑戦の歴史(心臓のしくみと心筋梗塞、心臓病治療の歴史、心臓移植の歴史)	2時間	

・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第5回授業内容	免疫と病気	美しい免疫のしくみと免疫の異常	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。また、与えられた課題に対してレポートを作成して提出する。	目安時間	2時間
第6回授業内容	感染症（1）	永遠に続く闘い（新興感染症と再興感染症、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第7回授業内容	感染症（2）	微生物からの挑戦状（エイズ、エボラ出血熱、病原細菌の逆襲） 謎の病原体（プリオン病の歴史、ヒトのプリオン病、研究の展望）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の第7章および第9章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第8回授業内容	がんの話	がんは根絶できるか（がんの臨床、がん遺伝子とがん抑制遺伝子の発見、新しい治療）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。また、与えられた課題に対してレポートを作成して提出する。	目安時間	2時間
第9回授業内容	脳の構造と機能	脳科学が拓くSFの世界（大脳皮質の機能局在、記憶、ニューロエシックス）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第10回授業内容	パーキンソン病	手足がうまく動かせない！ パーキンソン病	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。また、与えられた課題に対してレポートを作成して提出する。	目安時間	2時間
第11回授業内容	認知症（アルツハイマー型、レビー小体型、血管性）	認知症の海をどう泳ぎきるか！（研究最前線と治療法の開発）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第12回授業内容	神経伝達物質と精神疾患	神経伝達物質は人間の行動を支配する？（統合失調症・双極性障害と脳内生化学物質）	目安時間 2時間
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第13回授業内容	こころとからだ	病は気からは本当か？体を鍛えて脳を強化できるか？ うつ病は、本当に心の風邪？	目安時間 2時間
・・・予習内容	参考資料を予め通読して、各自身近な例を考察しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。また、与えられた課題に対してレポートを作成して提出する。	目安時間	2時間
第14回授業内容	伝統医学と代替医療	アーユル・ヴェーダは、生活習慣病予防に役立つか？ 代替医療の嘘と本当 エビデンスに基づいた思考を身につける：グラフの嘘を見抜く、氾濫する医療情報を判断する	目安時間 2時間
・・・予習内容	参考資料を予め通読して、各自身近な例を考察しておくこと。	目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。	目安時間	2時間
第15回授業内容	未来に向かう医学	それでも医学の進歩はとめられない！ ・寿命はどこまで延ばせるか：抗加齢研究	目安時間 2時間

		・エビジェネティクス ・臓器移植と再生医療		
・・・予習内容	教科書の該当する章をあらかじめ通読しておくこと。		目安時間	2時間
・・・復習内容	講義で理解困難だった事項を抽出し、教科書、そのほかの書籍・参考書で理解を深める。また、レスポンスカードを作成して提出する。		目安時間	2時間
			学修時間合計・・・	90時間

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価		
種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	レポート5回（各20点）
上記以外		
ループリック添付ファイル		
成績評価備考	レポートの評価を受けるためには、講義への2/3以上の出席が必要である。	
その他授業外学習		

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
人間 vs. 病気	安原 治	サンライズ出版	978-4883257263	
教科書備考	一部資料配付（PDFファイルをUSPoに上げる）			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	高校「生物基礎」と「生物」を履修していることが望ましい。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	
関連する画像・文章・動画 URL	R4第1段階.人間学.pdf／第1段階ループリック

講義コード	1150456	ナンバリング番号	
講義名	農業と環境A		
講義名(英文)	Agriculture and Environment A		
副題	農業と環境	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度後期
授業形態	講義	アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント/ハンドアウト配付/視聴覚メディア等の利用		
担当教員	須戸 幹		
実務経験/実践教育	滋賀県の農業、畜産業、水産業に関する行政の現状と課題について現場で関わる滋賀県職員の方々から話しを聞いている。		

シラバス

授業概要	<p>農業による農産物の生産は、水資源や水環境、生態系に大きな影響を及ぼしており、地球温暖化の一因となっていることも指摘されている。そこで、食糧生産の手段である農業を持続可能とするためには、環境と調和した農業のあり方を考える必要がある。</p> <p>本講義の前半では、地球規模の環境問題と農業の関わり、および滋賀県やその周辺の事例に基づいた水稲、畑作、畜産における生産方法と科学的見地からみた農業の環境への影響について概説する。</p> <p>後半では、滋賀県庁、農業経営者、流通販売関連産業の従事者を講師に招き、農業生産の現場とともに農業がかかわる行政、流通、経済の実際を学ぶ講義を数回実施する。</p>
到達目標	<p>1. 農業生産のシステム、農業と環境との関わりを科学的知見から説明できる。</p> <p>2. 実際の農業現場の実状を知り、農業を持続的に行うための方法を説明できる。</p>

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
人間の心身及び人間と自然や社会のかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	◎
市民としての責任感と倫理観を身に付ける。	態度・倫理	○
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。	思考・判断	○
地域の現実的な課題を解決するために必要な素養と態度を身につける。	態度・倫理	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

第1回授業内容	講義の概要説明・農業と環境とのかわり	序論として農業と環境との関わりについて歴史的な視点から概説する。	目安時間	2
・・・予習内容	シラバスを十分読み込んでおいてください。		目安時間	2
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	2
第2回授業内容	農業と地球規模の環境問題	農業と地球規模の環境問題(温暖化、砂漠化、森林破壊など)の関わりについて述べる	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第3回授業内容	農業と水資源問題	農業と世界的な水資源問題について説明する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第4回授業内容	水田稲作の仕組み	水田における水稲栽培方法および環境の関わりを説明する。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4

第5回授業内容	畑作農業と環境	野菜を中心とした畑作物の栽培方法および環境の関わりを説明する。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第6回授業内容	農業と水域の富栄養化	農業由来による水質の富栄養化について述べる	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第7回授業内容	農薬の環境問題	農薬による環境汚染問題、生態系への影響について説明する。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第8回授業内容	畜産と環境	畜産に関わる環境問題について説明する。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第9回授業内容	滋賀県における農地整備と環境保全対策	滋賀県での農地整備（圃場整備）と環境保全対策の歴史と現状について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第10回授業内容	滋賀県における農業経営	滋賀県における農業と農業経営の実態について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第11回授業内容	滋賀県における水産業と環境	滋賀県における畜産および水産業の歴史と現状について学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第12回授業内容	滋賀における農業の実践（1）	滋賀県内における農産物の生産、流通、販売などの実践について学ぶ（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第13回授業内容	滋賀における農業の実践（2）	滋賀県内における農産物の生産、流通、販売などの実践について学ぶ（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第14回授業内容	滋賀県内の農産物流通の実際	県内の流通販売等の関連産業従事者を講師に農業の現場を学ぶ。（外部講師予定）	目安時間	2
・・・予習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
第15回授業内容	全体のまとめ、これからの持続可能な農業を目指して	これまでの講義全体のまとめを通して、持続可能な農業のあり方を考える。	目安時間	2
・・・予習内容	特に必要ありません。		目安時間	
・・・復習内容	講義内容の要約などの課題を課します。また、興味に応じて関連図書などを読んでください。		目安時間	4
学修時間合計・・・				90

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	0
レポート課題	100	毎回、講義内容などに関する宿題（レポート）提出してもらいます。その内容によって評価します。
上記以外		
ルーブリック添付ファイル	有	
成績評価備考		出席回数が全体の2/3未満の者は評価対象外とする。
その他授業外学習		

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	外部講師の都合で講義の順番や内容が一部変更になることがあります。
関連する画像・文章・動画 URL	

講義コード	1150460	ナンバリング番号	101HUM1761,133RED101,135LAH206
講義名	比較住居論		
講義名(英文)	Comparative Study of House Design		
副題	住まいがたえる世界のくらし	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態	講義	アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	パワーポイント/ハンドアウト配付/その他		
担当教員	藤木 庸介		
実務経験/実践教育	一級建築士の教員が指導する科目		

シラバス

授業概要	世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。
到達目標	(1) 世界の多様な住居のあり方を理解し、事例を挙げて説明ができる。 (2) 人々の生活と住居構成に関する相関性を理解し、説明ができる。 (3) 様々な居住文化のあり方に対して、自らの生活を相対化して位置づけられる。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
各地の居住文化について、人の生活や社会的拝見との関連を鑑みた上で理解することができる。	知識・理解	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

回	授業内容	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。	目安時間	2
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。	目安時間	2
	・・・予習内容		目安時間	
	・・・復習内容		目安時間	
第2回	住居構成の基礎	建築物の構造や素材といった、住居構成の基礎的な仕組みについて解説する。	目安時間	2
	・・・予習内容		目安時間	2
	・・・復習内容		目安時間	
第3回	中国の住居（1）	中国中原、並びに南方の四合院における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
	・・・予習内容		目安時間	
	・・・復習内容		目安時間	
第4回	中国の住居（2）	中国中原における窯洞の居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
	・・・予習内容		目安時間	
	・・・復習内容		目安時間	
第5回	中国の住居（3）	中国内モンゴル自治区におけるゲルの居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
	・・・予習内容		目安時間	

・・・復習内容			目安時間	
第6回授業内容	東アジアの住居	台湾北部の山岳少数民族地域・他における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第7回授業内容	世界のトイレ事情・世界のスラム事情	世界におけるトイレ文化、スラム街とそこでの暮らしについて解説する。 第1回目の小テストを行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第8回授業内容	東南アジアの住居（1）	フィリピン北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第9回授業内容	東南アジアの住居（2）	インドネシア北部の山岳少数民族地域における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第10回授業内容	南アメリカの住居	ペルー・ティティカカ湖の浮島における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第11回授業内容	インドの住居	インド北部・ヴァーラーナシーにおける居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第12回授業内容	西アジアの住居	かつてイラクにあった家族島における居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第13回授業内容	アフリカの住居	アフリカ北部の居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第14回授業内容	イギリスの住居	イギリス・コッツウォルズの居住文化と住居構成について解説する。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
第15回授業内容	まとめ	本講義の総括を行い、居住文化と住居構成の多様性について考察を行う。 第2回目の小テストを行う。	目安時間	2
・・・予習内容			目安時間	
・・・復習内容			目安時間	
学修時間合計・・・				30

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
----	-------	-------

定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に挙げた(1)(2)(3)の内容を包含した小テストを2回行い評価する。 成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。
ルーブリック添付ファイル	有	
成績評価備考	やむを得ない事由により小テストを欠席する場合には、必ず事前に申し出ること。 また、当日の急病等によって事前の申し出がでずに欠席した場合には、病状に関する診断書を提出すること。 上記以外により小テストを欠席した者は、単位取得を認めない。	
その他授業外学習	教科書、並びに授業で配布されるプリントを復読することが望ましい。	

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介	世界思想社	978-4-7907-1689-1	
教科書備考	教科書は第4回目の授業から使用する。 それまでに用意すること。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考	教科書に記載の無い講義内容については、プリントを配布する。			

前提学力等	
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	本講義の定員は、原則130名とする。 定員を超える受講希望者があった場合には、レポート課題により受講者の選考を行う。 レポート課題は第1回目の授業時に出題するので、本講義の受講希望者は、必ず第1回目の授業に出席すること。 第1回目の授業に出席しなかった者、並びに、レポート課題を別途指定する締め切り期日までに提出しなかった者については、受講者選考の対象としない。 受講者の選考結果については、第2回目の授業日前日までに、掲示、並びに、USPoに掲載する。
関連する画像・文章・動画 URL	

講義コード	1600320	ナンバリング番号	101HUM119
講義名	憲法		
講義名(英文)	The Constitution of Japan		
副題		旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度後期
授業形態	講義	アクティブラーニング	無
プレゼンテーション	板書		
担当教員	橋本 豪志※		
実務経験/実践教育	弁護士事務所での勤務経験をもつ教員が指導をする科目		

シラバス

授業概要	人権と統治機構という憲法の基本構造を理解する。その上で、一国民としての個人が、国政を考えるに当たり、正確な基本情報を獲得することの重要性、及び獲得情報をもとに批判的精神を持って政治的意思を持ち、民主主義社会に参画することの重要性を自覚する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ? 「二重の基準」の理解 ? 自由権と社会権の違いの理解 ? 直接民主制と間接民主制の得失の理解 ? 自由主義と民主主義の理解と実践

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
憲法の精神の基本的理解を自らの言葉で表現できること	一般的な文書作成能力	定期試験

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

第1回授業内容	概説	ガイダンス、公共の福祉	目安時間	同上。15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第2回授業内容	新しい人権①	法人の人権享有主体性、未成年者の人権	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第3回授業内容	新しい人権②	外国人の人権	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第4回授業内容	新しい人権③	プライバシー権、自己決定権	目安時間	同上。15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第5回授業内容	法の下での平等	平等原則について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第6回授業内容	信教の自由	政教分離原則について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分

・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第7回授業内容	表現の自由①	二重の基準について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第8回授業内容	表現の自由②	プライバシー権、名誉権との関係	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第9回授業内容	表現の自由③	知る権利について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第10回授業内容	平等原則	投票価値の平等、その他について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第11回授業内容	財産権	営業の自由	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第12回授業内容	生存権、教育権	自由権と社会権について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第13回授業内容	統治機構総論	直接民主制と間接民主制について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第14回授業内容	政治部門	議院内閣制について	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
第15回授業内容	司法権、地方自治	司法の独立、地方自治の本旨	目安時間	15分
・・・予習内容	教科書を読む		目安時間	15分
・・・復習内容	ノートの復習		目安時間	15分
			学修時間合計・・・	450分

※予習、復習の目安時間については、それぞれに記載している場合と復習の目安時間に予習にかかる目安時間と合算して表記している場合があります。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	100	論述式試験による相対評価。但し、落第は絶対評価による。
レポート課題		
上記以外		
ループリック添付ファイル	無	
成績評価備考		
その他授業外学習		常日頃から、時事トピックに関心を持つておくこと。

教科書

書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考

いちばんやさしい憲法入門	初宿正典他	有斐閣アルマ	978-4-641-22150-5	
憲法判例集（第11版）	野中俊彦、江橋崇編著	有斐閣新書	978-4-641-09160-3	
教科書備考				
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	新聞、雑誌などを通じて、政治社会に興味を持っていること。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	
関連する画像・文章・動画URL	

講義コード	1150020	ナンバリング番号	101HUM112
講義名	異文化理解 A		
講義名 (英文)	Cross-Cultural Studies A		
副題	英語圏の異文化理解	旧カリキュラム名	
単位数	2単位	開講期	2024年度前期
授業形態	実習	アクティブラーニング	有
プレゼンテーション	板書／パワーポイント／ハンドアウト配付／視聴覚メディア等の利用／その他		
担当教員	真島 アマンダ		
実務経験/実践教育	英語圏での海外実習を主体とした実務的教育から構成される科目		

シラバス

授業概要	夏季休業中の約3週間、英語圏で一般英語コースを受講する。 2024年の行き先は米国オレゴン州ポートランドで開催される。 授業は、午前の英語学習と午後の選択科目（ボランティアやポップカルチャーから一つ選択）の受講を想定している。週末には、大学周辺地域へのフィールドトリップ（別料金）も想定。 現地の滞在はホームステイ（現地の一般家庭）を予定している。出発までに数回の研修を実施する（後日通知、出席必須）。この科目は学生自らが履修登録をするのではなく、後日USPoで掲載する応募用紙に記入の上、国際化推進室に提出すること。
到達目標	英語によるコミュニケーション能力の向上、国際感覚の涵養、異文化理解の促進および課題発表会におけるプレゼンテーション能力の向上。

学位授与方針との対応

概要	能力	比重
国際的に活躍する世界市民に必要な外国語によるコミュニケーション能力を身につける。	技能・技術	◎
人間の心身および人間と自然や社会とのかかわりなどについて、多面的に学習し、複雑化・流動化していく社会に対応できる知識を身につける。	知識・理解	○
市民としての責任感や倫理観を身につける。	態度・倫理	○
人間や社会を深く見つめ、そこから問題の発見、解決に取り組むための能力を身につける。	思考・判断	○

※複数学科で開講される科目では主たる担当教員の所属学科の「学位授与方針との対応」となっていますので、履修の手引で確認してください。

授業計画

<p>1. 事前研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前オリエンテーション ・留学生活について ・危機管理セミナー ・英語集中講座など <p>2. 現地での研修内容 (例):</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ American Conversation Class <p>英語テクニック、発音、単語、スラングなどアメリカ人と自然な会話ができるような技術を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ "Plus" Elective Classes (選択科目) <p>ボランティアクラスやポップカルチャークラスなど</p> <p>上記2クラスを週16時間実施。</p> <p>3. 帰国後の報告会 課題発表会</p>	学修時間合計・・・	60時間
---	-----------	------

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		

レポート課題		
上記以外	100	帰国後に行う発表会
ループリック添付ファイル		
成績評価備考	帰国後に発表会を開催し、与えられた課題に従った発表をPPTで行う（100%）。発表会開催日、および発表課題は後日通知。成績評価は「認定」。	
その他授業外学習		

教科書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
教科書備考	教科書なし。事前研修が必要に応じて資料配布あり。			
参考書				
書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN	備考
参考書備考				

前提学力等	現地での授業等は全て英語で行われるため、受講者は英語で質疑応答が出来る語学力と積極性が求められる。定員は15名とし、応募者多数の場合は語学力に応じて選抜を行う。
履修資格	
授業の参考となるサイト	
担当者から一言（授業評価アンケート結果をふまえたコメント等）	現地でのホームステイを通して、その国の日常生活を体験することができるとともに、日常英語会話力の向上も期待できる。
関連する画像・文章・動画URL	